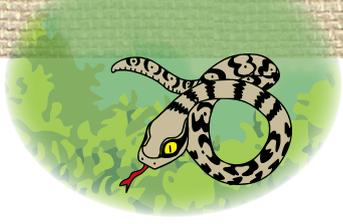


ハブ咬症注意報の発令について



沖縄県には猛毒を有するハブが生息しており、年間50人～60人のハブ咬症患者が発生しております。

気温が暖かくなるとハブの行動が活発になり、加えて農作業や行楽等で田畑や山野への出入りが多くなるこの時期にハブ咬症被害も多く発生しております。

ハブによる咬症被害は私たちの注意によって未然に防止することができます。

草刈りやネズミの駆除など敷地内の環境整備を行い、ハブの生息・侵入しにくい環境を整えましょう。

もしハブに咬まれた場合は、激しい動きをしないで、身近な人に助けを求め早急に医療機関で治療を受けましょう。

沖縄県では令和6年5月1日から令和6年6月30日までの間、ハブ咬症注意報を発令し、広く県民や観光客の皆さんがハブ咬症被害を未然に防止するよう呼びかけます。

お問い合わせ 公立久米島病院 TEL:098-985-5555
久米島町役場 環境保全課 TEL:098-985-7126

人と動物の共生



する島 久米島

猫を飼っている（エサを与えている）皆さんへお知らせ

△隠さないで△

～猫を外飼している事、エサを与えている事～

「猫を飼う」「エサをあげる」事は決して悪い事ではありません！猫は野生動物ではないので、人間からエサを貰わず、狩りだけで生きていく事はほぼ出来ません。

十分なエサが食べられなければ、民家に入り込んで食べ物をあさり、その家の庭で糞尿をします。

不妊手術をしていなければ、行動範囲が広く、あちこちで、しかも、年に何度も子猫を産みます。

外で生活している猫から産まれた子猫が大人になれる確率は非常に低く、ほとんどが死んでしまいます、子猫が死ねばすぐに交尾し、出産を繰り返すのです。

交通事故や感染症などにより、不幸に命を落とす猫が増え続けている島の現状を止めるため、一人一人が責任ある行動を。

猫を外飼している、エサやりをしている事に後ろめたさを感じて「野良猫だから関係ない」「うちの猫じゃない」と主張したり、猫の存在を隠すなどの事案が多くなっています。猫はエサをもらえる場所に通います、その場所を自分の生活拠点として認識するのです。

初めは野良猫だったのかもしれませんが、でも、継続的にエサを与えるのであれば、手術をして、十分なエサを与えてください、それが唯一の人と猫の共存方法です。

活用しましょう！

猫の格安不妊手術キャンペーン

年に数回島内で不妊手術を行うため獣医師が来島します！

【避妊・去勢手術 5,500円 / 1頭】

※健康体の猫にのみ実施します。

※子猫は体重1キログラム以上で手術可能です。

次回 2024年11月or12月予定 (日程調整中)

室内飼育の猫の予約も可能です、外飼育・エサやりだけしている猫・捕まらない触れない猫でも大丈夫！また、費用が心配など、まずは環境保全課までご相談ください！

外に出すならマナーです！

猫であっても不妊手術を受けさせましょう。

エサやりだけ、は無責任！

エサをあげれば居付いて増えます、手術が必須です。

まずは相談してください！

費用の心配、触れない・捕まらない等の心配がある場合はご連絡ください！

！猫は生後半年程で出産が可能になります。
！交尾をしたらほぼ100%妊娠します。
！増える前に不妊手術をしましょう。



お問い合わせ 久米島町役場 環境保全課 TEL:098-985-7126 FAX:098-985-7120